

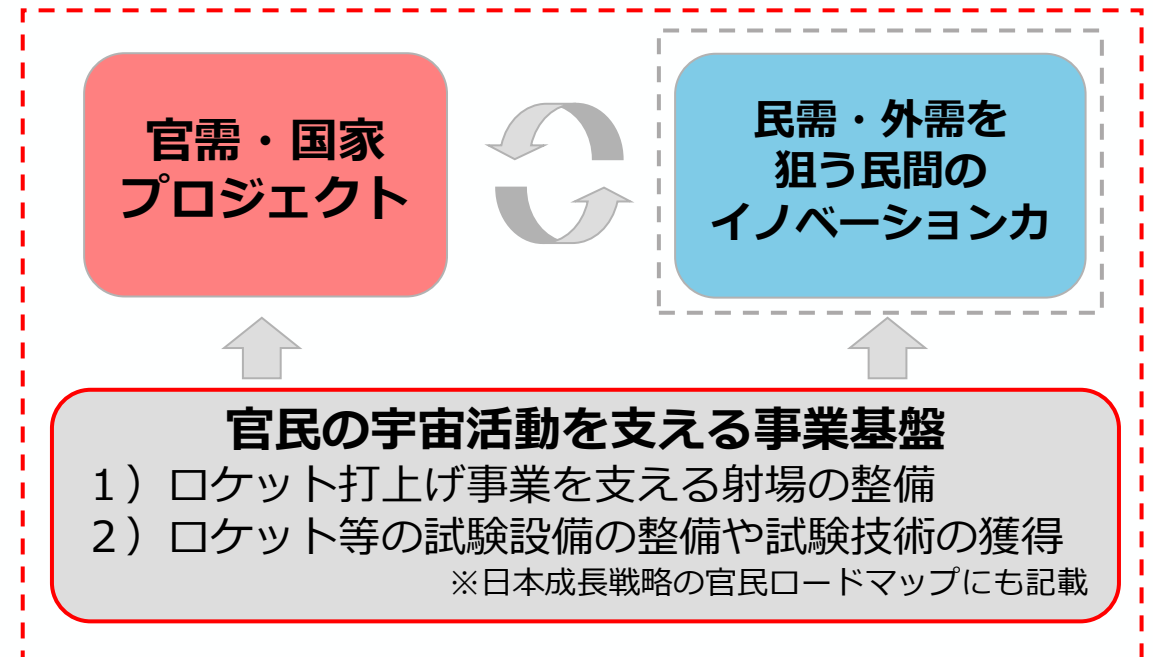
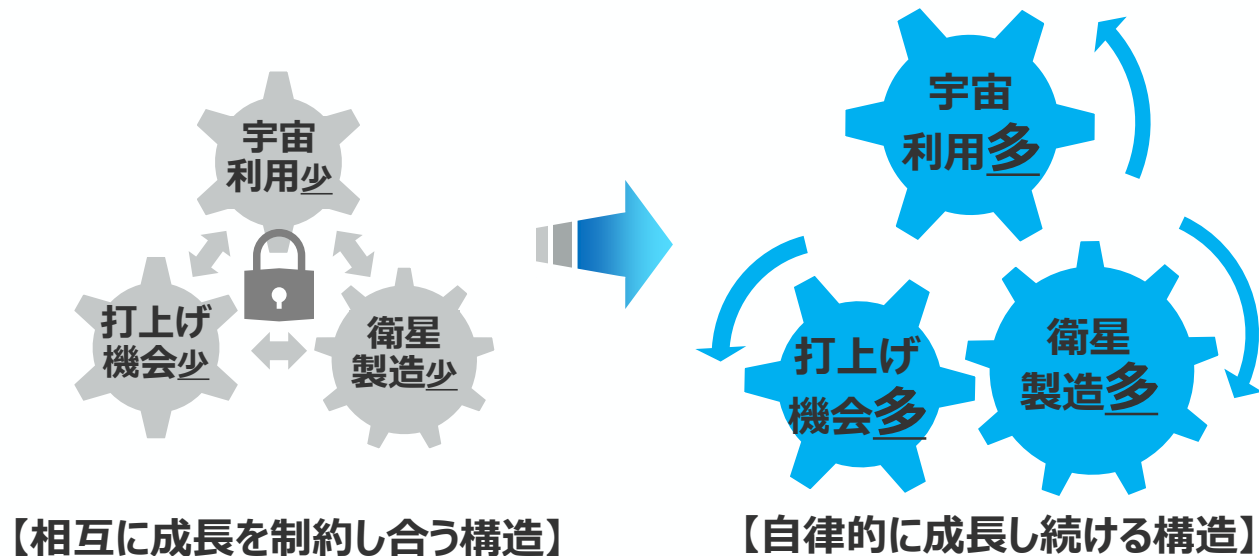
令和9年度概算要求における 経済産業省宇宙関係予算について

令和8年9月

製造産業局 宇宙産業課

経済産業省の令和9年度の宇宙予算の概要

1. 「宇宙利用」「衛星製造」「打上げ機会」のそれぞれが相互に成長を制約し合う構造を打破し、技術を成長のサイクルへとつなげていくため、宇宙戦略基金（令和5年度補正1,260億円、令和6年度補正1,000億円、令和7年度補正740億円）等の経済施策を一体的に講じていく。
2. 加えて、「宇宙基本計画工程表改定に向けた重点事項」を踏まえ、宇宙産業を「次世代の国家インフラ」として発展させるため、これまで中心的に取り組んできた「民間のイノベーション力」の更なる後押しに加え、射場や試験設備等、官民の宇宙活動を支える総合的基盤の強化に、関係省庁とともに取り組んでいく。



宇宙関係予算（令和9年度概算要求額）

令和9年度概算要求額1,020億円（令和8年度当初予算額53億円、令和7年度補正予算額886億円）

【宇宙予算】1,018億円

- **経済安全保障に資する宇宙産業の基盤強化 683億円、国庫債務負担行為を含め762億円（新規）**
 - ・ 衛星需要及びそれに伴うロケット打上げ需要が高まる中、民間のみでは整備・維持が困難なインフラの不足が経済安全保障上のリスクとなっている。こうした課題解決のため、老朽化が進むJAXAの施設を含め、射場及び衛星やロケットの開発・製造に不可欠な大規模試験施設を整備・強化する。（※令和9年度予算要求としては、まずは令和9年度から費用が発生する、既存射場の拡張費用や大型試験設備の設計費用等を計上）
- **宇宙戦略基金事業 329億円（令和7年度補正740億円）**
 - ・ 既存テーマの今後の加速の必要性を十分踏まえた上で、内閣府と連携の上、勝ち筋の強化やボトルネックの解消の観点から必要性の高い、①競争力のある衛星システムの実現に向けた衛星コンステレーションの拡張、②高頻度なエンジン燃焼試験技術の獲得の2テーマに戦略的に絞り込んで取り組む。
- **次世代ベースデータ取得インフラ構築のためのシステム検討事業 2億円（新規）**
 - ・ 多様な波長の衛星データについて、これを利用したサービスに対する官民のニーズをヒアリング等により明確化するとともに、国内市場開拓の参考となる海外事例調査も行う。その上で、これらのニーズを満たす衛星システムの在り方と、基盤データの取得にかかる官民の役割分担について検討を行う。
- **宇宙データ利活用エコシステムのためのAI-Ready衛星データ基盤技術の研究開発事業 3.7億円（新規）**
 - ・ 産総研において、衛星データの欠損補完、解像度向上、地理空間情報とのデータ統合を通じて、AI解析のために最適化された「AI Ready衛星データ」へと変換するAI技術の中核とし、解析、予測、推論、評価等の多様な用途に容易に活用できるAI基盤モデルを開発。

【関連予算】2.1億円

- **無人自動運転技術の開発等の衛星データを活用した各種実証事業 2.1億円（令和8年度当初23.1億円）**
 - ・ 自動走行車における準天頂衛星システム等を活用した運行管理・安全技術等を開発・実証。

主要事業の概要①

● 経済安全保障に資する宇宙産業の基盤強化 683億円、国庫債務負担行為を含め762億円（新規）

※令和9年度予算要求としては、まずは令和9年度から費用が発生する、既存射場の拡張費用や大型試験施設の設計費用等を計上。

1. 衛星サービスが国家インフラとしての重要性を増す中、例えば、打上げの海外依存による経済損失、宇宙活動の自律性の毀損といった経済安全保障上のリスクが顕在化している。
2. 我が国では民間事業者の取組が発展しつつある一方、射場や大規模試験施設などの民間のみでは整備・維持が困難なインフラの不足により、事業者は競争力強化に向けた経営資源を分散せざるを得ない状況。なお、国際的には、公的機関が整備等したものを活用して民間成長を促している。
3. これまで我が国の宇宙活動の成長を支えてきた老朽化が進むJAXA施設を含め、こうした大規模なインフラについて、経済安保推進法の枠組みを活用し、産業インフラとして整備・強化を進める。

日本のロケット打上げ射場の例

※構想段階のものを含む

JAXA内之浦宇宙空間観測所
(肝付町)



大分空港
(国東市)



南相馬市

北海道スペースポート
(大樹町)



スペースポート紀伊
(串本町)



JAXA種子島宇宙センター
(南種子町)

JAXAが保有する大型試験施設の例



13mφスペースチャンバ



液体ロケットエンジン燃焼試験設備

出典：JAXA

主要事業の概要②

● 宇宙戦略基金事業 329億円（令和7年度補正740億円）

1. 経産省は、民間の事業化が加速する衛星データ、衛星、輸送の分野において、産業構造上の縮小均衡を解消し、好循環を実現するため、宇宙戦略基金を活用し、事業化を見据えた技術開発を進めている。
2. 政府全体では、R5～7年度で総額8,000億円を措置。経産省は、R5補正予算（1,260億円）で全5テーマ、計26件、R6補正予算（1,000億円）で全6テーマ、計42件を採択済み。R7年度補正予算（740億円）については、5つの新たな技術開発テーマへ抛出予定であり、全テーマ公募・審査中。
3. 既存テーマの今後の加速の必要性を十分踏まえた上で、勝ち筋の強化やボトルネックの解消の観点から必要性の高い、①競争力のある衛星システムの実現に向けた衛星コンステレーションの拡張、②高頻度なエンジン燃焼試験技術の獲得の2テーマに絞り込んで、新たに予算要求を実施。

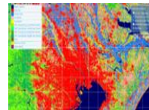
これまでに着手した主な技術開発（経産省分：R5～7補正3,000億円）

【令和5年度】世界での衛星コンステレーション構築の加速を受け、衛星コンステレーション構築とその関連部品開発に優先着手。



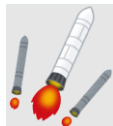
衛星コンステレーションについて、一定地域でのサービス展開が可能な
基盤配備を早期実現

【令和6年度】衛星データ活用事業の競争力激化を受け、衛星データ利用システムの開発・実証等の早期実施に着手。



国際競争力のある
衛星データを利用した
ソリューションの
事業化を実現

【令和7年度】海外ロケット事業者の打上げ高頻度化と競争力向上を受け、国内事業者の打上げ能力の早期確保に着手。



複数回の打上げを通じて
信頼性を向上させ、国際
競争力のある輸送サービ
スの早期事業化を実現

勝ち筋強化やボトルネック解消に必要な技術開発

- 異なるセンサデータを組み合わせた高付加価値なサービスを実現する競争力ある衛星システム実現に向けて、異なる技術・ミッションを有する複数の衛星コンステレーションの構築が必要
- ロケット打上げの高頻度化に向け、ロケットエンジンの開発・製造において必須の燃焼試験について、需要増加及び多様な需要への対応を可能とする低コスト化・効率化技術の獲得が必要

(参考) 宇宙戦略基金のテーマ (令和5年度補正・経産省措置分)

領域	第1期技術開発テーマ (全5テーマ)	予算規模	採択件数
輸送	①宇宙輸送システムの統合航法装置の開発	35億円	1件
	②固体モータ主要材料量産化のための技術開発	48億円	1件
衛星	③商業衛星コンステレーション構築加速化	950億円	4件
	④衛星サプライチェーン構築のための部品・コンポーネント開発・実証 (追加公募済)	180億円	13件
	⑤衛星データ利用システム海外実証	10億円	7件

(参考) 宇宙戦略基金のテーマ (令和6年度補正・経産省措置分)

領域	第2期技術開発テーマ (全6テーマ)	予算規模	採択件数
輸送	①高頻度打上げに資するロケット部品・コンポーネント等の開発 (追加公募中)	195億円	7件
	②高頻度打上げに資するロケット製造プロセスの刷新	245億円	9件
	③射場における高頻度打上げに資する汎用設備のあり方についてのフィージビリティスタディ	5億円	1件
衛星等	④衛星データ利用システム実装加速化 (追加公募中)	176億円	17件
	⑤革新的衛星ミッション技術実証支援	120億円	1件
分野共通	⑥宇宙機の環境試験の課題解決	230億円	7件

(参考) 宇宙戦略基金のテーマ (令和7年度補正・経産省措置分)

領域	第3期技術開発テーマ (全5テーマ)	予算規模	採択件数 ※公募・審査中
輸送	①民間ロケット打上げ実証加速化	240億円	2件 (予定)
	②ロケット飛行運用の効率化・高機能化	50億円	3件 (予定)
衛星	③宇宙交通管理を見据えた自律性確保に資する事業化加速	150億円	4件 (予定)
	④デジタル技術を前提とした衛星開発・製造プロセスの刷新及び機能高度化の技術開発・実証	230億円	3件 (予定)
	⑤宇宙実証機会の拡大に資する衛星を活用した軌道上実証の低コスト・高頻度化技術の開発実証	48億円	1件 (予定)